

新年度に向けて

皆様、当センターはついに開業5年目を迎えました。立ち上げの混乱をくぐり抜け、新しい診療スタイルがようやく軌道に乗り安定して参りましたのも皆様の努力とご協力のお陰です。ありがとうございます。そして今、安心のできる地域づくりと新しい医療人を育成するという私たちの理念に立ち返り、注力するべき時が来ました。具体的には、地域と連携した認知症への取り組みと教育委員会活動を基軸にしたいと思います。さらに新しい診療科も今秋開業予定です。これからの新しい5年間も、私たちの理念を導きの星として一緒に歩んで参りましょう。

六ヶ所村地域家庭医療センター センター長 松岡 史彦

介護老人保健施設ニッコウキスゲも、五年目の春を迎えました。今年度から、当施設は、リハビリ需要の増加に対する新たな方策として、通所リハビリテーションの定員増加（20名→25名）と訪問リハビリテーションを開始することとなりました。

通所リハビリはこれまで20名定員でしたが、実際は当日の欠席により、1日17名程度の利用状況でした。そこで定員を増やすことで、安定した利用を目指すこととなりました。さらに、訪問リハビリの開始で、通所が困難な方などへも対応したいと思います。

限られたマンパワーではありますが、今後も皆様の期待、要望に応えられるよう頑張りますので、今年度もよろしくお願い致します。

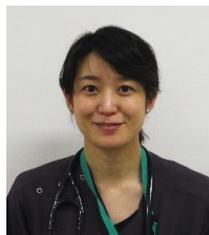
六ヶ所村介護老人保健施設ニッコウキスゲ 施設長 船越 樹

研修医師紹介



大澤 瑛
青森県立病院
蓬田村出身

家庭医療専門医を目指しています。皆様の健康問題解決に尽力したいと思っておりますので、些細なことでもご相談ください！



上柴 このみ
市立恵那病院（岐阜県）
東京都出身

民謡から洋楽まで音楽が大好きです。お困りのことに少しでもお応えできたらと思いますのでお気軽にお声がけ下さい。よろしくお願い致します。

診療報酬・介護報酬のW改定について



平成30年度は6年に一度の診療報酬・介護報酬のW改定の年となっております！改定内容の概要についてお知らせいたします。

診療報酬

団塊の世代が75歳以上となる2025年とそれ以降の社会・経済の変化や技術革新への対応に向けて、平成30年度診療報酬改定により、質が高く効率的な医療提供体制の整備とともに、新しいニーズにも対応できる質の高い医療の実現を目指す。

地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

医科

1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

歯科

1. かかりつけ歯科医の機能の評価
2. 周術期等の口腔機能管理の推進
3. 質の高い在宅医療の確保

新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

医科

1. 重点的な対応が求められる医療分野の充実
2. 先進的な医療技術の適切な評価と着実な導入

歯科

1. 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

介護報酬

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、平成30年度介護報酬改定により、質の高い効率的な介護の提供体制の整備を推進。

地域包括ケアシステムの推進

- 中重度の介護者も含め、どこに住んでいても適切な医療・介護サービスを切れ目なく受けることができる体制を整備

自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

- 介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重症化防止に資する質の高い介護サービスの実現

多様な人材の確保と生産性の向上

- 人材の有効活用・機能分化、ロボット技術等を用いた負担軽減、各種基準の緩和等を通じた効率化を推進

介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性

- 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保

詳しい内容については
ケアマネジャーへ
ご確認ください！！



健康おたすけ隊のご紹介



健康おたすけ隊は、当施設の運営が開始した平成26年に松岡センター長より依頼を受け、結成されてから今年で5年目となりました。

六ヶ所村の皆さんの健康をおたすけしたいという思いから、**「健康おたすけ隊」**と命名し活動しています。

主な構成員は医師・看護師・保健師・診療放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士などですが、センター全体でも定期的に活動報告し、意見交換などを行っています。

私たちの役割は、患者さん自身が治療に向き合うことができるように支援していく、いわばサポーターのような存在となることです。

発足時、最初の活動として糖尿病で受診されている方に、意識・知識についてアンケート式で実態調査を行いました。分かったことは「糖尿病についてもっと知りたい、治療を継続することで合併症を予防できる」と感じているが、「自分のコントロールがうまくいっているかどうか分からない」という方が多く見られたことでした。

そこで、糖尿病についての知識を深めることで治療やコントロールに対して意欲が高まり、自分で治療していくのだという自信につながるのではないかと考え、血糖コントロールについて理解してもらうために、糖尿病連携手帳にオリジナルで作成した資料の貼り付けを行いました。また、連携手帳の発行時には、血糖コントロールや合併症について説明を行い、合併症予防のために定期的にスクリーニング検査を受ける体制づくりの整備や、初年度には健康教室などを行ってきました。

現在では、糖尿病連携手帳を持参する方が多く見られ、血糖コントロールや食事についてお声がけをしてくれる方も増えたように感じます。

青森県は糖尿病死亡率が3年連続で全国最下位となっています。糖尿病重症化予防や、糖尿病に深く関連する他の生活習慣病の予防のためにも取り組みの充実、強化及び拡大が必要だと感じています。

今後も地域のみなさまの健康のために、活動を継続していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



医師 大澤 瑛(オオサワアキラ)

おたすけ隊に
新しく加入いたしました！
よろしくお願いいたします。



おたすけ隊メンバー

老健ニッコウキスゲ 行事予定表



通所リハビリ（デイケア）

- 5月 菜の花ドライブ
- 6月 外出行事 ～六ヶ所～
- 7月 泊祭り見学
- 8月 夏祭り
- 9月 外出行事 ～三沢～
敬老会
- 10月 外出行事 ～野辺地～
- 11月 文化祭見学
外出行事 ～十和田～
- 12月 クリスマス忘年会
- 1月 新年会
- 2月 節分
- 3月 ひなまつり

入所・短期入所

- 5月 菜の花ドライブ
- 8月 夏祭り
- 10月 外出行事 ～野辺地～
- 12月 クリスマス忘年会
- 1月 新年会
- 3月 ひなまつり

※不定期開催
松岡バンド演奏会



～編集後記～

ココロン通信も今回で3回目になり、年3回の目標を達成し、一巡しました。継続は力なりですか。ちなみにJADECOR通信の部署紹介に六ヶ所村医療センター歯科が紹介になりました。表紙を飾る写真は、日影さんの撮った尾駮沼の白鳥の写真です。しっかり見てください

広報委員会編集長